

M24a 1992年2月21、24、27日のホモロガス・フレアの研究(II)

森田諭、内田豊、藤崎浩三、廣瀬重信(東京理科大学)

「ようこう」による1992年2月21、24、27日のホモロガスフレアの観測を解析し、前回はSXTイメージ、光球磁場分布などの相似性とその限界等について報告した。今回はBCSデータ、HXTデータ等をSXTイメージと相関的に解析した。BCSは空間分解能はないが、SXTイメージのうちBCSの積分強度と同じタイミングで上昇する部分があれば、それがブルーシフトなどに対応したものと考えてよいだろう(pseud-spatially resolved)。また、HXTではアーケードフレアは波が広がって弱いためにイメージングが難しいが、低いフーリエ成分をとる方法(佐藤他、1995秋年会)などが試みられている。ここでは、HXTのLバンドのみに主に出る源(熱的源)のイメージに特に関心があり、これらのテクニックを用いて調べた。